

2021年 9月 26日

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 祷 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌498番 ～注がれた愛～

パウロの祈り①

聖書朗読 ルカによる福音書19章1～10節

特別賛美 ①②宮田四郎兄／③④大和青年会

メッセージ 「今日、救い^{すく}いがこの家^{いえ}にきた！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌495番 ～主は今生きておられる～

祝 祷

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～見つめ続けます～

☆礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆

《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを心より感謝致します。今週も主の守り、祝福を祈ります！

☆今週の祈り会は ○早天祈祷会：明朝6時。◎祈祷会：木曜朝10時半～、
夜7時半～（大和の祈祷会に参加）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝では誕生祝福式を行います。〈司：白川兄／祈：村山姉〉。

☆一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan* [9/26－10/3]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	イザヤ 14-16	17-20	21-23	24-26	27-28	29-30	31-33	34-36
新約	ガラテヤ 1	2	3	4	5	6	エペソ 1	2
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇〇 〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

「今日、救いがこの家に来た！」

～神のおとずれの時を知る～

「いよいよ、都の近くにきて、それが現れたとき、そのために泣いて言われた。『もしおまえも、この日に、平和をもたらず道を知ってさえいたら……しかし、それは今おまえの目に隠されている。』」

ルカによる福音書19章41・42節

神の民イスラエルをまず救うためにイエス様はその人生をお捧げになりました。しかし、その道は閉ざされ、神の民イスラエルは神の国から遠い存在となってしまいました。しかし、その中でも罪人と言われる人々（遊女、取税人、異邦人たち）がその救いへと導かれました。彼らはマイナー（少数派）と呼ばれる人々でした。

取税人のリーダーであったザアカイも救いを受け止めた数少ないユダヤ人の一人でした。彼の救いの内容が聖書に記されていることによって、神から程遠い存在であっても主は捜し出して救い出してくださいという大いなる希望に導かれます。イエス様の関心は教会の外にあります。もちろん兄弟姉妹の關係は彼らを受け止める受け皿となりますから、教会がいつも神様の愛に溢れていなければなりません。そんな中にザアカイやマグダラのマリヤなどが神の家族として加えられていったのだと想像できます。しかし、イエス様は良い羊飼いで、神様から失われたと思い込んでいる人たちに希望を伝えるために出会ってくださいました。

パウロもそんな人物の一人でした。彼はパリサイ人でイエス様から言わせると「偽善者」と呼ばれるグループに属する存在でした。しかし、彼がクリスチャン撲滅のために殺人者になることをとどめるかのようにして、昇天されて天におられるお方がわざわざ、直接パウロに出会ってくださいました。イエス様はそうにして今でも天におられますが、一人一人と直接出会ってくださいるお方であることを信じます。

イエス様が語られた内容のほとんどは「神の国」についてでした。そして、ご自身がこの世に来たことは、すなわち神の国がこの世に来たことであるということを語られました。なぜ、そのことに当時のユダヤ人の多くは気がつかなかったのか？それは、祈りの家である神殿を商売の場所にしてしまっ、て、祈りと信仰をもって神の国を待ち望んでいなかったからであると19章の後半では語られています。しかし、信仰と祈りをもって待ち望んでいた数名の信仰者（シメオンやアンナ〔2章〕）はイエス様をメシヤ（救い主）だと確信しました。

今やイエス様が来られた時代よりもさらに主がご再臨される時が近づいています。ですから、ますます私たちは主の日を今か今かと自覚して待ち望み祈る必要があります。神の国の実現がもう間近となっているのです。

イエス様に出会って、自分自身の生き方を思い切って変えたザアカイ。それは、次のイエス様のたとえ話に登場する10人の僕のような存在でもあります。これからイエス様は弟子たちに一時的にこの世の働きを委ねて神の国の準備をなさるために地上を離れられます。そして、最終的にこの地上に戻って来られて審判をなさいます。主は私たちに神の国のために自分自身を捧げて、その生き方を変えて、神の国の使命のために生きるように励ましています。ザアカイは取税人ではありませんでしたが、その生き方を変えた存在となったのです。